

2018 ^{か ぞく}家族でかくにん！

わが家のぼうさい コンテスト 入賞作品集



もしものときに^{そな}備え、^{か ぞく}家族で^{はな}話し合おう！^あ

主催／ふくいの水防災を考える会

(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局

後援／福井県教育委員会

もくじ

2 入賞者一覧

3 審査委員名列

審査講評

審査委員長
福井工業高等専門学校
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

5 最優秀賞 作品紹介

坂井市春江小学校 5年 政田 鮎香さん

7 優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 荒木 愛理さん

8 優秀賞 作品紹介

坂井市春江小学校 5年 砂原 沙希さん

9 福井新聞社長賞 作品紹介

坂井市春江小学校 5年 渡邊 隆典さん

10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 平木 里奈さん

11 入選作品の紹介

16 奨励賞作品の紹介

2018 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



政田 鮎香さん
坂井市春江小学校 5年



荒木 愛理さん
福井市豊小学校 5年

砂原 沙希さん
坂井市春江小学校 5年



渡邊 隆典さん
坂井市春江小学校 5年



平木 里奈さん
福井市豊小学校 6年



木原 美樹さん
福井市豊小学校 6年

東野 愛弥さん
福井市松本小学校 5年

宮澤 諒さん
鯖江市北中山小学校 4年

宮田 那央さん
坂井市春江小学校 5年

山端 咲貴さん
福井市豊小学校 6年

小玉 蓮王さん
福井市東藤島小学校 4年

中島 杏珠さん
坂井市春江小学校 5年

尾崎 くるみさん
福井市松本小学校 5年

田中 悠翔さん
小浜市内外海小学校 4年

茶谷 翠さん
坂井市春江小学校 5年



田川 歌恋さん
福井市豊小学校 5年

藤田 明花さん
福井市東藤島小学校 4年

市村 優珠さん
鯖江市北中山小学校 4年

古市 菜々子さん
坂井市木部小学校 5年

奥出 凜乃さん
坂井市春江小学校 5年

仲嶋 優太さん
坂井市春江小学校 5年

吉村 朱織さん
坂井市春江小学校 5年

藤本 大翔さん
福井市順化小学校2年

小川 明日香さん
福井市東郷小学校6年

水間 壮悟さん
鯖江市立待小学校 5年

有田 晴信さん
坂井市春江小学校 5年

重久 惺哉さん
坂井市春江小学校 5年

山口 壱斗さん
坂井市春江小学校 5年

渡邊 心葉さん
坂井市春江小学校 5年

北林 佐有望さん
福井市東藤島小学校 4年

小矢 結貴さん
小浜市国富小学校 5年

奥出 悠月さん
坂井市木部小学校 5年

井上 愛菜さん
坂井市春江小学校 5年

富田 良亮さん
坂井市春江小学校 5年

吉田 彩珠さん
坂井市春江小学校 5年

審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	嶋田 博文氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	磯部 英彦氏	福井地方気象台長
	西出 俊亮氏	福井県土木部技幹
	山形 辰美氏	鯖江市防災アドバイザー
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業局長
	大門 博也氏	NHK福井放送局長



審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

今年で第5回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」の応募総数は245点で、過去2番目に多い作品数となりました。このうち入賞総数は35点であり、入賞率は約14.3%となります。今回は、限られた面積の中で防災情報を集約し、地域を調査した上で課題を見出し、リスクを下げて安心を生み出したいという意図が反映された作品が多く見られました。まずは、応募されました児童の皆さんおよびそのご家族、ご指導にあたられた方々、さらにはマップづくりに際し調査に協力いただいた関係者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。今年の特徴の一つとして、応募学校数が昨年より大幅に増えたことを挙げることができます。当コンテストの地域的な広がりとともに、防災に対する意識の広がりを感じるところです。

この5年間で当コンテストの実施方法に大きな変化はありませんが、毎年少しずつ視点が変化しているように思えます。その背景には、現実に体験する、あるいは映像として目に入る災害の多様性があるものと推察します。私たちが災害対応を考えると、地震、雨、雪などのハザードを取り上げ、それぞれの対応を分けて考えることが大半です。ハザードが災害を引き起こすとき、大地震、大雨、大雪と形容詞がつきます。ここ数年を振り返れば、巨大地震、豪雨、豪雪へと規模が大きくなり、さらにそれらが

常態化し、かつ単独ではなく複合することも増えてきました。最優秀賞に選ばれた作品は、この複合災害をも視野に入れた内容でした。小学生にとっては非常に難しい課題に取り組み、家族を含めた関係者が一丸となって話し合われたであろうことを想像し、敬意を表するところです。

このように、私たちは多様な災害を目の当たりにし、防災に対する“知識”を蓄積してきました。しかしながら、いざハザードに襲われる危険性が生じたとしても、“知識”の中にある“行動”に、必ずしも直結しないという現実があります。一般的な防災“知識”を、「わが身」のこととして捉えるプロセスが必要なのだと思います。少なからず、本コンテストで「わが家」を振り返ったご家族には、“行動”に結びつけるヒントが見つかったものではと推察します。

このような実態を踏まえ、今回の審査では、“行動”に結びつくかという視点を大切にしました。優秀作品の中には、この視点が多く含まれていることをご理解いただけたと思います。なお、優秀作品以外にも、この視点で工夫された作品を多く確認されたことを申し添えます。

防災ではよく言われることですが、“継続する”ことが重要です。当コンテストの作品づくりを一過性のイベントに終わらせず、家族や地域が少しでも安心して暮らせるよう、更新作業を含めた継続的な防災活動の積み重ねを期待いたします。

2018 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト 入賞作品集



表彰式で辻子委員長（右）から賞状を受け取る、最優秀賞の政田鮎香さん
＝10月8日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



表彰式で司会者からインタビューされる受賞者



表彰式会場に展示した入賞作品を見入る受賞者



表彰式終了後に実施した、防災教室



福井地方気象台の実験コーナー（表彰式会場）



 **講評** 〈審査委員長〉 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

わが家の防災計画

はじめに ----- 家族紹介 (災害の経験)

父
51才

三重県出身。昭和東南海地震(1944)や、南海地震(1946)、伊勢湾台風(1959)の被害のあった津波の中で育つ。福井豪雨、大雪の日本大雪災害では仕事で帰宅困難。

母
49才

ち豪雪(小)学生で学校が休校毎日。屋根雪おろしをした。
福井豪雨(自宅のうみんがエビとすずめで、各自も浸水、こした。)。

祖母
82才

福井地震(12月初)。親せきにはなくなった。家がつぶれたりに人毛いいる。
38豪雪(豪雪・福井豪雨の時)止、停電、断水をも何日間も経験。
今年の豪雪が一巻、寒風、災害と言っている。

兄
14才

今年の、豪雪が初めての災害(休校バスデー)厳禁ひやあいの寒い、出たをいた。
ここ数年かたくこの自然災害が起きているけれど、家は新しい、海から川からも遠いので、地震や水害が起るとは大丈夫と思、ていた。

1 複合災害.....想定外のひき

複合災害とは、
2つ以上の災害が同時に発生するもの

(例)
豪雪 + 地震 + 水害

豪雪

- 家屋の倒壊
- 交通障害 (道路閉鎖、公共交通機関停止)
- 交通障害 (道路閉鎖、公共交通機関停止)

地震

- 家屋の倒壊
- 火災
- 地盤沈下

水害

- 家屋の倒壊
- 土砂災害
- 洪水・浸水

猛暑

- 熱中症

70年前の福井地震の後大雨がふり大洪水になる

水害時の対応:
避難場所へ避難
破損箇所を修理
ライフラインを確認

災害時、必要に応じて情報収集を行うこと

2. わが家の防災マップ

自分で考えて、想像にのっとって描く。自分の家を、自分の家族の安全を守る。大人の手助けを必要とする。

家族の安全を守るには、災害発生時の避難経路を事前に決めておくことが大切です。この防災マップは、家族全員が避難経路を確認し、安全な避難行動をとることができるように作成されています。

3. わが家のタイムライン

災害発生から避難までの時間的流れを把握し、適切な行動をとるためのガイドです。

時間	状況	行動
3日前	大型台風が発生	天気予報に注意。家族全員で避難場所を確認。
2日前	台風が近づいてくる	車のガソリンを満タンに。外の物を取り入れ、安全な場所に移動。
1日前	台風が強くなる	大切なものは2階以上へ移動。非常食や飲料水を確保。
当日前	大雨警報	避難経路を確認。家族全員で避難場所を確認。
6時間前	避難警報が発令	家族全員で避難場所を確認。避難行動を開始。
3時間前	特別警報が発令	避難行動を完了。避難場所での安全確認。
0時間前	避難行動完了	避難行動を完了。避難場所での安全確認。



福井市豊小学校 5年
荒木 愛理さん

Q 講評 〈審査委員長〉

Q&A形式で多くの防災情報がまとめられている作品です。構図が整っており、色使いも工夫されているため、「楽しく学ぶ」ことができます。DMATや災害対応自販機といった、広く知られてはいないが、災害時の不安を少なからず解消できる情報を丁寧に表現している点も評価されます。末尾には、防災マップに示された避難経路とリンクした「家族で決めた約束事」が簡潔に箇条書きで示されており、行動に結びつきやすい内容となっています。



受賞者コメント



私がこの防災マップを作ろうと思ったきっかけは、今年の7月上旬に西日本豪雨が起きたからです。西日本豪雨では200人以上が亡くなってびっくりしたけれど、私が生まれる前の福井でも豪雨があり、みのりにある自分の家も床下しん水の被害があったと聞いて、さらにおどろきました。災害は怖いけれど、備えておくことで、被害を小さくすることはできます。その時どうするのか家族で話し合ったり、近所の1次避難所や防災倉庫を確認したり、雨水タンクや調整池を見て回りました。分かったことは、赤十字病院のヘリポートには雪に備えてゆう雪装置があることや、災害対応の自販機があることです。工夫した所は、分かりやすいように写真をたくさん使ったことです。実際に見たり体験することで、色んなことが分かりました。もし災害が起きたら、今回学んだことを困っている人に教えてあげたいです。



坂井市春江小学校 5年
砂原 沙希さん

Q 講評 〈審査委員長〉

圧迫感や恐怖心をあおる要素を取り除いた構図・色使いで、とても見やすい作品です。自宅内に掲示し、年中作品を見ながら防災を考えることができるのではないのでしょうか。調査して最初は不安になったとのことですが、「マップが仕上がって安心」できたようです。リスクに目を背けず、調べることで課題を発見し、その対応をもって安心に結びつける経験が大事です。「安心を自信に変えたい」の言葉から経験で培った頼もしさも伝わってきます。



受賞者コメント



どうすれば家族のためになるマップができるのか？家族との話し合いで問題となったのは、ペットの事と備えの事です。消防士さんからペットもいっしょにひなでできると聞き、安心しました。周りの状況やペットの様子を見ながらひなするとよい、と分かりました。また、物資がとどくまでは自分で備えた物で生活なくてはならないので、備えの大切さも学びました。防災グッズを買い足す時、火を使わずに水だけでできる非常食の種類の多さにもおどろきました。災害なみの暑さの中、調べるのは大変でしたが、ひな場所やきけんな所がはっきり分かり、わが家せん用マップが仕上がっていくのがうれしかったです。今年は「災害の年」と言っているほどたくさんの自然災害が起きました。いつ起きるか分からない災害に備えるために、これからも防災活動が続けたいです。



坂井市春江小学校 5年
渡邊 隆典さん

講評〈審査委員長〉

危険な場所や防災上必要なアイテムについて、時間をかけて綿密に調査したことがうかがえる作品です。調べた結果がバランスよく配置されており、家族で丁寧に作り上げた過程を想像できます。中でも、水の中を実際に歩き、災害時の歩行体験（訓練）を行っている点は斬新です。このような情報は、“わが家”の中に留めることなく、広く地域で利用したい情報です。公民館等で披露されてはいかがでしょうか。地域の安心の輪が広がることでしょう。



受賞者コメント



旭地区の防災マップで工夫して調べたことは3つあります。1つ目は、お父さんから聞いたことです。しん水などのひ害でひ難するときにズックで逃げるのが一番最適ということです。なぜなら、安全です早くひ難できるからです。2つ目は、ぼくが住んでいる旭地区ではどのようにひ難するのが良いか、という事です。旭地区は、比かく的高れい者が多いため、しっかりとおたがいに声をかけあいながら助けあって、ひ難する事が重要だと分かりました。3つ目は、防災とひ難の準備、訓練です。

今回調べたことで、身の回りには危険な場所がたくさんあることが分かりました。このあぶない場所をはあくして、ぎ牲者を一人でも多くへらすべきだと思いました。みんなで助けあい、旭地区はもちろん、他の地区の全員が助かるのが一番いいなと思いました。



福井市豊小学校 6年
平木 里奈さん

講評〈審査委員長〉

近年顕著な被害をもたらしている「異常気象」をテーマとして、画用紙1枚にコンパクトかつ丁寧に整理してまとめられた作品です。額縁サイズなので、リビング等で1枚の絵のように飾ることもできます。過去に福井豪雨で甚大な被害のあった福井市みのり地区ならではの視点で調査され、「雨水貯留管」を絵や写真で具体的に紹介しています。「安全のためにわが家でできること」「わが家が決めたこと」を色使い豊かにまとめていることも特徴的です。



受賞者コメント



発生するたびに最大級の台風や地震が日本のあちこちで大きな被害を出しています。私たちの想像を超える災害がいつでもおこりうる今、命を守るためにいろんな災害に対応した心の準備が必要だと思い、この防災マップを家族で作りました。

まず、市役所で住んでいる町の危険箇所を調べました。避難所の周りの土地が低かったり、土砂災害が起こりそうな場所が多いことに驚きました。実際に避難所まで歩いてみると、地図にはない高い平垣や鉄塔、広い用水路など危険なところがたくさんあり、とても不安になりましたが、以前水害を受けた後、雨水対策に大きな貯水管が作られていることを公民館で知り、少し安心しました。

私はこの防災マップを作ってみて、家族で話し合い決める事、準備をする事の大切さを改めて感じました。そして、災害の時は自分達で判断せずに情報をきちんと聞き、早めに行動する事も大切だと思いました。災害を人ごとのように思わず、家族で地域で心がけていきたいです。



福井市豊小学校 6年
木原 美樹さん

講評（審査委員）

新聞の見出しや写真を上手にちりばめて表現した、インパクトのある作品です。ローリングストックなど、見落とされがちな大事なことが紹介されています。マンホールトイレの使い方が具体的に紹介されていて、とても分かりやすいです。



福井市豊小学校 6年
山端 咲貴さん

講評（審査委員）

家の近所の大雨による浸水被害予想エリアや避難場所が、分かりやすくまとめられている作品です。避難グッズや家族で決めた約束事も紹介されており、普段から災害に対する意識を高く持ち、災害時の行動につなげようとしていることがうかがえます。



福井市松本小学校 5年
尾崎 くるみさん

講評（審査委員）

福井以外での地震災害に関心を持ち、自分の住んでいる地域のこととして考えている作品です。地図に分かりやすく書き込みをし、自宅と学校の両方を考えています。震災時と水害時で避難場所が違うことを知らない人にも役に立つ資料になっています。



福井市松本小学校 5年
東野 愛弥さん

講評（審査委員）

いろんな災害を本や資料でたくさん調べた力作です。地震と水害のそれぞれの避難場所を示し、そこへ行く途中の危険な場所を知ることとても大切です。色文字使って強調するなど、見やすいレイアウトで読む人に分かりやすい工夫もされています。





福井市東藤島小学校 4年

小玉 蓮王さん

講評（審査委員）

災害時の家族のルールを作成するため、よく話し合ったことが分かる作品です。特に「ローリングストック」という防災用品の備蓄方法など具体的なアイデアの提案や、家族みんなの感想など、防災意識を高めるきっかけとなったことがうかがえます。



鯖江市北中山小学校 4年

宮澤 諒さん

講評（審査委員）

福井豪雨で水がついた場所をもとに避難先までのルートが考えられ、とても丁寧に作られた防災マップです。非常食の準備や避難するときの声掛けなど、防災における「自助」と「共助」の大切さを家族でしっかりと話し合っています。



小浜市内外海小学校 4年

田中 悠翔さん

講評（審査委員）

自宅が海の近くであることから、津波なども想定し、災害ごとの具体的な避難行動計画を表で見やすくまとめています。津波と土砂災害では避難場所や避難経路が異なることや、土砂災害警戒区域など地域の危険箇所もマップに示すなど、よく調査しています。



坂井市春江小学校 5年

中島 杏珠さん

講評（審査委員）

家族で災害時の対応をしっかりと話し合った作品です。大雨洪水を想定して避難先まで歩くと、普段は気にしていない場所の危険な部分が見えてきます。自宅の写真を使って浸水の深さを一目で分かるようにするなど、水の怖さを伝える工夫も面白いと思います。





坂井市春江小学校 5年
茶谷 翠さん



講評 (審査委員)

自宅周辺の危険箇所を丁寧に調べて表現しています。避難場所や注意事項など、家族で決めたことを明確にしています。また、2月の大雪で外に出られず、非常食が役に立った経験から備えの大切さを訴えている点も高く評価できます。



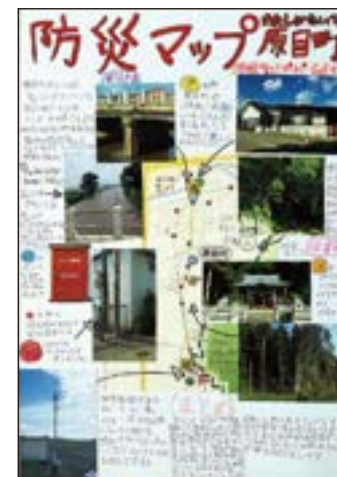
福井市豊小学校 5年
田川 歌恋さん



福井市順化小学校 2年
藤本 大翔さん



福井市東藤島小学校 4年
北林 佐有望さん



福井市東藤島小学校 4年
藤田 明花さん



坂井市春江小学校 5年
宮田那央さん

講評 (審査委員)

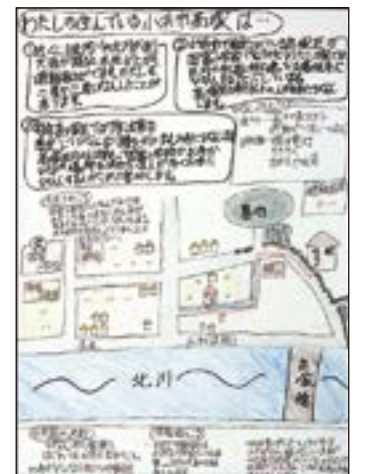
地図と写真を上手に配置し、調べたことや気づいたこと、家族の約束事を分かりやすくまとめています。災害の状況によって避難経路を変えるなど、よく考察されています。家族みんなが見えるところに掲示してほしい作品です。



福井市東郷小学校 6年
小川 明日香さん



小浜市国富小学校 5年
小矢 結貴さん



鯖江市北中山小学校 4年
市村 優珠さん



鯖江市立待小学校 5年
水間 壮悟さん





奨励賞

坂井市木部小学校5年
奥出 悠月さん



奨励賞

坂井市木部小学校5年
古市 菜々子さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
山口 壱斗さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
吉田 彩珠さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
有田 晴信さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
井上 愛菜さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
吉村 朱織さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
渡邊 心葉さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
奥出 凜乃さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
重久 惺哉さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
富田 良亮さん



奨励賞

坂井市春江小学校5年
仲嶋 優太さん



防災出前授業やっています！

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、福井県では小学校へ出向いての防災出前授業を行っていますので、ご希望があれば福井県砂防防災課までご連絡ください。

福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

主催／ふくいの水防災を考える会
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局

後援／福井県教育委員会

平成30年12月発行